



スローガン
「幸せ
あふれる
北小」
～私も幸せみんなも幸せ～

はぴねす

令和7年度スタート

4月18日(金) 最高の天候に恵まれ、歓迎遠足を実施いたしました。体育館での歓迎集会では、6年生に手を引かれた1年生の、どこか照れくさそうな表情が印象的でした。その後の「北小クイズ」では、正解するたびに歓声が上がリ、和やかな雰囲気になりました。

目的的地では、改めて1年生を温かい拍手で迎え、歓迎の意を表しました。6年生は、パートナーの1年生に優しく声をかけ、一緒に遊ぶなど、楽しい時間を共有していました。1年生と心を通わせる6年生の姿は、頼もしく、成長を感じさせてくれるものでした。

また、各学年・学級では、ドッジボールや長縄跳びなど、担任の先生も加わり、思い切り体を動かして楽しんでいました。

子供たちが心待ちにしていたお弁当やおやつタイムには、自然と笑顔が溢れていました。現在、アレルギー対策として、お弁当のおかずやおやつとの交換は行っておりません。以前に比べると少し寂しい気持ちもあるかもしれませんが、自分自身と友達の安全を守るための大切な約束であることを、子供たちはしっかりと理解しています。

何よりも、子供たちの輝く笑顔と、元気いっぱいに遊ぶ姿を間近で見ることができ、大変幸せなひとときとなりました。



第一回避難訓練

4月30日(水)に、家庭科室からの出火を想定した避難訓練を実施いたしました。通常、避難訓練は校内放送を合図に避難を開始しますが、今回は家庭科室という場所柄、隣接する教室にいた6年生は、火災の発生と発見のほぼ同時進行で避難を開始するという、実際の状況をより考慮した形で行いました。

一方、他の学年の子供たちは、放送を注意深く聞き、火元を確認してから速やかに避難しました。約500名という全校児童が、5分程度で安全に避難を完了し、迅速な人数確認まで行うことができました。特に、1年生にとっては初めての避難訓練でしたが、落ち着いて行動できていたことは素晴らしいと思います。

今回の訓練で学んだことが、いざという時の行動にしっかりと繋がることを心から願っています。

交通安全教室

4月21日

(月)には、時津

警察署と安全協

会の方々を講師

にお迎えし、交通

安全教室を実施いたしました。1時間目には低学年、2時間目には中学年、3時間目には高学年の児童が参加しました。各学年の発達段階に合わせた内容で、クイズや実演を通して、子供たちは楽しみながらも真剣に交通规则を学んでいました。



今回の学びを活かし、交通事故に遭うことなく、安全に気を付けて生活していただけることを願っています。

つぶやき

世の中は、GW真っ只中。ご家庭によって家族構成も、保護者の皆様のお仕事も様なので、過ごし方も多岐にわたっていることだろう。

私の実家は理容院だったので、GWはまさに書き入れ時。定休日に近場へ出かけることはあっても、泊りがけの遠出はなかなかできなかった。小学校時代を振り返ると、友達と遊んだり、部活動に明け暮れたりしていた記憶がほとんどである。教員になってからも、監督を務めるバレーボールチームの遠征や試合で各地を飛び回っていた。こうして考えると、長い間変わらないGWを過ごしてきたのかもしれない。

メディアでは、海外や国内旅行を楽しむ人々のニュースが盛んに報道され、高速道路やサービスエリアの混雑ぶりも伝えられている。しかし、実際に子供たちにGWの過ごし方を尋ねてみると、意外にも遠くまで出かけたという声は少数である。休みが合わなかったり、渋滞を避けたりと、ご家庭それぞれの事情もあるからだろう。

では、子供にとって本当に楽しいこととは何だろうか？ たとえ遠くへ出かけたとしても、延々と続く渋滞に巻き込まれたり、長い列に何時間も並んだりするのは、楽しさも半減してしまうだろう。我が子たちからよく言われた「楽しいかどうかは、どこへ行くかじゃなくて、誰と行くかで決まるとよ。」という言葉には、妙に納得させられることが多かった。

今年のGWは、畑の土を耕し、孫と他愛ない遊びをしながら、ささやかな幸せをじっくりと味わいたいと思っている。